

第320回

# 日文研フォーラム

講師◎ 蔡敦達

上海杉達学院(中国) 教授／日文研外国人研究員

重々たる法界目前に彰<sup>あき</sup>らかなり——禅院の塔頭<sup>たつちゆう</sup>における「境致」の選定

コメンテーター◎ 井上章一 日文研教授

司会◎ 呉座勇一 日文研助教

2018年4月10日(火) 十四時～十六時(開場十三時四十分頃)

ハートピア京都3階大会議室

入場無料・先着二八〇名まで

申込不要(十三時十五分頃より整理券配布)

International Research Center for Japanese Studies

## The 320th Nichibunken Forum

主催: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



## 日文研フォーラム

重々たる法界 目前に彰らかなり——

禅院の塔頭<sup>たつとう</sup>における「境致」の選定  
Selecting Kyochi in Japanese Zen Sub-Temples

中国の南宋(一一二七・一二七九年)

五山では、禅院内外の建造物や自然物を禅宗的な観点で選定し、これを「境致」と言っていました。そして、多くの場合、十の重要なものを選んで「十境」と呼びます。これがやがて日本に伝えられ、中世の京都五山や鎌倉五山で行われるようになりました。

ただし、日本の五山における境致の選定は、禅院本寺だけにとどまらず、子院とも言える塔頭にも広がっていったのです。これは、境致選定の日本的展開であり、日本の特色とも言えましょう。

本講演では、日本の五山本寺による境致の導入を見たうえで、そのように塔頭で行われた境致選定の実態解明を試みたいと思います。

## 講師 蔡 敦達

上海杉達学院(中国) 教授／日文研 外国人研究員



1978年復旦大学外文系日本語専攻卒業。1994年東京大学大学院工学系研究科建築専攻博士課程修了、同大学にて博士号(工学)取得。1996年同済大学副教授、2003年同大学教授を経て、2017年上海杉達学院教授。2017年10月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。

専門分野は、日本中世建築史、庭園史。近著に『中国城池図録』(編訳、同済大学出版社、2018(原著書:石割平造編『支那城郭の概要』、支那派遣軍総司令部配布、1940))、『図説日本建築史』(翻訳、南京大学出版社、2017(原著書:藤井恵介・玉井哲雄著『建築の歴史』、中央公論新社、2006))、『図説日本美術史』(共訳、生活・読書・新知三聯書店、2016(原著書:辻惟雄著『日本美術の歴史』、東京大学出版会、2005))などある。

## コメンテーター 井上 章一 日文研 教授



1980年京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。京都大学人文科学研究所助手、1987年国際日本文化研究センター助教授、2002年より同教授。

専門分野は建築史、意匠論。現在の研究テーマは風俗、意匠など、目に見えるものをつうじた近代日本文化史の再構成。主な著書に『パンツが見える。——羞恥心の現代史』(朝日新聞社、2002)、『日本に古代はあったのか』(角川学芸出版、2008)、『伊勢神宮——魅惑の日本建築』(講談社、2009)、『京都ざらい』(朝日新聞出版、2015)、『京女の嘘(京都しあわせ倶楽部)』(PHP研究所、2017)などがある。

## 日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

http://www.nichibun.ac.jp/ja/



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄丸太町駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「丸太町」バス停下車